

2026年7月1日

MoN Takayama: The Museum of Narratives

mitosaya株式会社

株式会社SynecO

## ミュージアムの屋上に、人と自然が育む文化実験の場

### 「MoNファーム」 始動

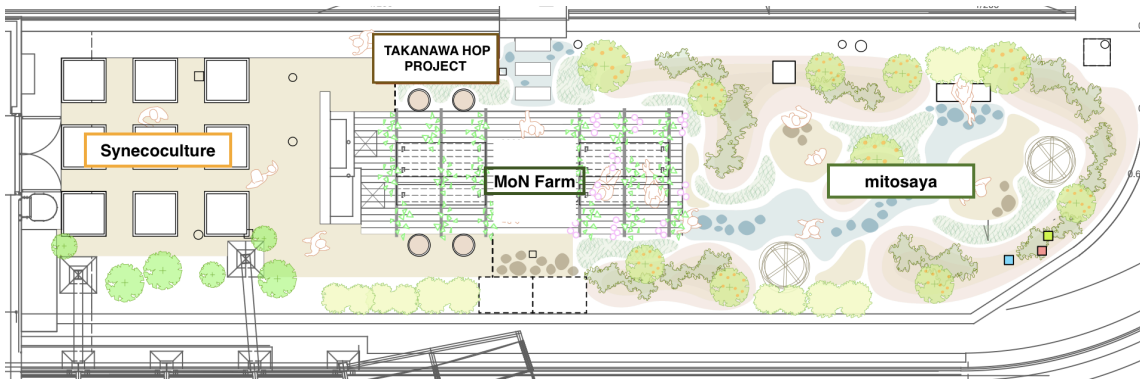
2026年7月12日（日）、市民参加型のキックオフイベントを開催

“100年先へ文化をつなぐ”をミッションに掲げる「MoN Takayama: The Museum of Narratives（東京都港区、運営：一般財団法人JR東日本文化創造財団）」は、2026年7月、屋上菜園プロジェクト「MoNファーム」を始動します。MoNファームは、ミュージアムの屋上に位置する菜園で、未来へ継承すべき営みを収集し、育て、記録するミュージアムの一部として誕生する新たなフィールドです。植物を育てるだけでなく、その背景にある知識や技術、人と自然との関係性を未来へつないでいく「生きたアーカイブ」として運営します。プロジェクトには、グローバルな「拡張生態系」の展開・構築を支援する株式会社SynecO（シネコ）、植物と人との関係を探求するmitosaya薬草園蒸留所（ミトサヤ）、高輪ゲートウェイ駅周辺の事業者・学校・住民の皆さまとホップを育てる地域コミュニティ活動TAKANAWA HOP WAY（タカナワ ホップウェイ）が参画。高輪の都市空間に、人と自然が共に育てる新たな文化実験の場を創出します。また、2026年7月12日（日）には、参加者とともに苗の植え付けを行うキックオフイベント「種びらき—文化を耕す、未来を植える」を開催予定です。来館者自らが手を動かし、100年先へ続く小さな生態系づくりに参加することができます。



## ■ MoNファームについて

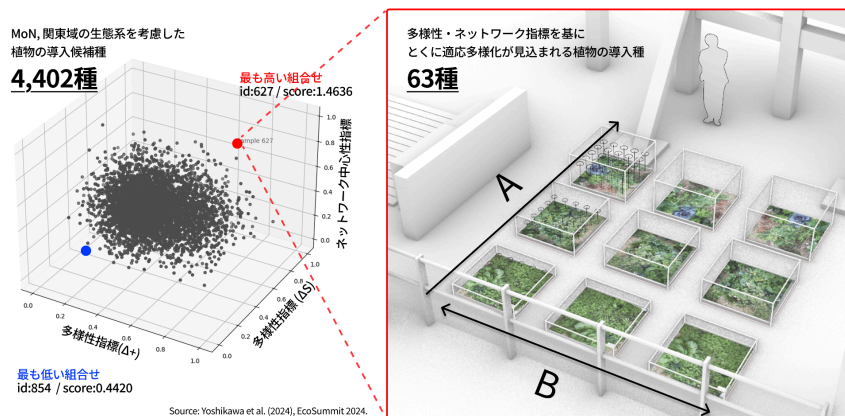
MoN Takanawaの屋上に位置するMoNファームは、植物を育てる農園ではなく、人と自然との関わりの中で生まれる知恵や技術、記憶といった“営み”そのものを未来へ継承するための実験的なフィールドです。植物を植え、育て、収穫し、味わい、語り合う一連の営みを通じて、来館者一人ひとりが文化の担い手となり、新たなナラティブを紡いでいくことを目指します。MoNファームでは、一つの農法や価値観にとどまるのではなく、植物や自然と多様なかたちで向き合うプレイヤーが横断的に交わることで、それぞれの知識や実践、視点が新たな文化へと発展していく場を目指しています。都市に生態系を構築するSynecO、植物と人との関係性を探究するmitosaya、高輪ゲートウェイ駅周辺の事業者・学校・住民の皆さまとホップを育てる地域コミュニティ活動TAKANAWA HOP WAYの知見が交わります。それぞれが持つ「自然との向き合い方」を横断することで、農業、食、蒸留、生態系、地域コミュニティといった領域を越えた新たな文化の実践を生み出し、その過程そのものを未来へ継承する「生きたアーカイブ」として育てていきます。



場所：MoN Takanawa: The Museum of Narratives 屋上

営業時間：10:00～20:00 ※営業時間については変更になる場合がございます。詳細は公式HPをご確認ください

## ■MoNファームパートナー：来るべき風景に向けた生態系の拡張（株式会社SynecoO）



100年後の日本の風景は、私たちが現在思い描く「自然」と同じ姿をしているのでしょうか。植物はホモサピエンスとの長い関わりの中で 気候や地形といった環境条件だけでなく、栽培・居住・薬用・鑑賞といった文明発展とともに移動し、多様化した歴史も持ちます。気候・テクノロジー・社会システムといった事象の急激な転換期において、過去の風景を厳密に保存するだけでも、無条件に変化を受け入れるだけでもなく、現在の生態系や社会との機能的相補性を考慮した「適応多様化 = Adaptive Diversification」としての風景は描けるでしょうか。本取り組みでは、MoNおよび関東域の生態系を総合的に捉えた多様性・ネットワーク指標をもとに、約4,400種の植物候補を解析し、導入種を探索しました。日本の在来性を尊重しながら選択した植物を3×3の植生グリッドに配置し、【A: 環境に起因する多様性の変化】と【B: 文明発展に伴う遺伝資源移動による多様性の変化】を重ねて示します。来訪者は、収穫や種苗の導入を通じて展示に参加し、都市生態系と新たな関係を結びなおすことで、来るべき風景に向けて生態系を拡張する主体として位置づけられます。

WEB： <https://www.syneco.inc/>

運営：株式会社SynecoO

# SynecoO

SynecoOは人間活動と自然環境が相互に活かしあう新たな関係の構築を目指し、Synecoculture™(注1)をはじめとする「拡張生態系」(注2)を用いたソリューションや生態系の評価、構築を支援するシステムを提供するスタートアップです。

(注1) Synecocultureは、ソニーコンピュータサイエンス研究所研究員の船橋真俊が科学的に定式化した有用植物の露地栽培法です。

(注2) 拡張生態系とは、人間活動が積極的に介入することで自然状態を超えて生物多様性を増進し、様々な生態系機能や生態系サービスを実現する生態系です。

■ MoNファーム パートナー：植物から文化体験を生み出す（mitosaya株式会社）



MoNファームでは植物を起点に人と自然の関係性を育む文化体験を展開します。目指すのは、この先100年も受け継がれる都市の庭です。薬効が古くから知られるナツメや日本固有のベリーであるシャシャンボ、香り高いレモンマートルやクロモジ、気候変動にも強いデザートライムなど、食・香り・健康に関わる多様な植物を育てます。地域の在来種と世界各地の有用植物を組み合わせ、変化する環境の中でも豊かな生態系を育みます。収穫物は蒸留や発酵、食や香りの体験へと展開し、人が植物を育て、味わい、学び、その知恵を次世代へ受け継ぐ場を創出します。また、ファーム内のパーゴラや小さな温室には、竹や輸送用パレットなど都市でも継続的に調達できる自然素材を活用し、昆虫や微生物を含む小さな生態系とともに育つ循環型の庭を実践します。

WEB： <https://mitosaya.com/>

運営：mitosaya薬草園蒸留所



mitosayaは千葉県夷隅郡大多喜町にある蒸留所です。薬草園を併設した敷地で栽培する果樹や薬草・ハーブ、全国の信頼できるパートナーたちの作る豊かな恵みを使い、発酵や蒸留という技術を用いてものづくりを行っています。

## ■ MoNファーム パートナー：TAKANAWA HOP PROJECT



TAKANAWA HOP PROJECTはビールの原料でもあるホップを高輪ゲートウェイ駅周辺地域の事業者・学校・住民の皆さまと一緒に育て、緑を通じて交流・連携をはかる地域コミュニティ活動です。この活動はまちびらきに向けた緑を育てる取組みとして、2021年より開始し、現在も活動を広げています。新しい栽培拠点としてMoN Takanawaが加わり、ホップの栽培をコミュニティメンバーにて行います。

WEB：<https://takanawagateway-am.jp/>

運営：TAKANAWA HOP PROJECT

### ■7月12日（日）キックオフイベント開催

100年続く菜園の最初の一步を、みんなで植えるMoNファームの始動にあわせ、2026年7月12日（日）にキックオフイベントを開催します。当日は、MoNファームのコンセプト紹介に加え、参加者による植え付けワークショップを実施予定です。高輪の屋上に新たに生まれる生態系の最初の一步を、来場者とともに育てていきます。ミュージアムの来館者、地域住民、企業関係者、子どもたちなど、多様な人々が関わりながら、この場所の未来を共につくっていく場となることを目指しています。

### ■開催概要（予定）

日時：2026年7月12日（日）16:30～18:00 ※雨天決行。荒天の場合は中止となります。

会場：MoN Takanawa: The Museum of Narratives 屋上「MoNファーム」

### ■実施内容：

#### 【第一部】

- ・ MoNファーム取り組み紹介のトークセッション  
拡張生態系・Synecocultureの紹介  
mitosayaの紹介

#### 【第二部】

- ・ 植え付けワークショップ
- ・ 参加者交流

### ■参加費：

【第一部】 無料（ワークショップ参加者には優先してご案内）

【第二部】 1,500円（税込）MoNオリジナルソフトドリンク付

参加予約：<https://ticket.montakanawa.jp/project/BxETcK7K52>

■定員：

30名（ワークショップ参加者）

※定員に達し次第、募集を終了します。

※当日券の販売有無については、公式サイトにて最新情報をお知らせします。

## ■伝統からマンガ、音楽、宇宙まで。文化の実験的ミュージアム

### MoN Takanawa: The Museum of Narrativesについて

The Museum of Narratives の頭文字「MoN」には、新たな自分と出会う新しい世界への「門」、そして、未来を考え創造するための「問(問い)」の2つの意味が込められています。



Photo: Yasuyuki TAKAKI

公式ウェブサイト：<https://montakanawa.jp/>

公式インスタグラム：<https://www.instagram.com/montakanawa/> (@montakanawa)

今後の詳細情報は、公式ウェブサイトおよびSNSを通じて順次発信します。

名称	MoN Takanawa: The Museum of Narratives
事業者	一般財団法人JR東日本文化創造財団
敷地面積	7,977.31 m <sup>2</sup>
延床面積	28,952.55 m <sup>2</sup>
高さ	44.98 m
階数	地上6階・地下3階
主用途	展示場、ホール、飲食施設等
設計者・デザイナー	品川開発プロジェクト（第Ⅰ期）設計共同企業体 外装デザイナーアーキテクト／隈研吾建築都市設計事務所

## ■一般財団法人JR東日本文化創造財団について

当財団は「MoN Takanawa: The Museum of Narratives」の企画運営を通して、日本の文化創造に貢献するための組織として2022年4月1日に設立されました。「100年先へ文化をつなぐ」をミッションに、これまで育まれてきた伝統や文化に現代の価値観やテクノロジーを融合さ

せ、より広い時間軸と国内外のパートナーとともに国際的な共創、交流、発信を行っていきます。

※「MoN」、「MoN Takanawa」並びに「MoN Takanawa: The Museum of Narratives」は、一般財団法人JR東日本文化創造財団の登録商標です。